

施政方針を表明

市政運営への所信

私は、平成18年の市長就任以来、政治という未知の世界ではありましたが、市政運営に全身全霊をささげてきました。この間、皆さんにお示ししてきた公約のうち、財政健全化など恒久的に取り組むべき課題もありますが、その多くを実現させ、行財政運営の推進に道筋をつけました。

また、昨年、3期目の市長選への立候補に際し、「人と地域が輝く、幸せが実感できるまち」を基本的な政治スタンスとして表明しました。この言葉には、「市民一人ひとりの暮らしが輝くことにより、地域全体の輝きにつながり、川西に住み、集う人たちに幸せを感じていただけるまちを実現する」という強い思いを含んでいます。結果、56年ぶりの無投票と

いうかたちで、三度私に市政を託していただくことになりました。これまでの市政運営へのご理解と、これからの4年に対する期待の表れとして謙虚に受け止め、皆さんの負託に誠心誠意お応えしていきたいと決意を新たにしています。

市政をめぐる諸情勢は、刻々と変化しており、これまでの市長任期の中で課題が尽きることはありませんでした。これからの道のりにおいても、時代の渦に巻き込まれ、流されないために、リーダーシップを発揮し、常にチャレンジ精神を持ち、生活者の視点を忘れず、既成概念にとらわれない発想と行動力で活路を開いていきたいと考えています。

3期目の市政に対する決意

「2040年には、若年女性が都心部へ流失することにより、全国の896市区町村が消滅の危機に直面する」。日本創成会議・人口減少問題検討分科会が発表した人口推計には、大きな衝撃が走りましました。同会議の警鐘は、人口減少問題を放置すれば、どのような未来が待っているのかと

人と地域が輝く 幸せが実感できるまち

川西の未来へ

第1回市議会（定例会）で、大塩市長が27年度の施政方針を表明しました。ここでは、そのあらましを紹介します。全文は市役所2階の市政情報コーナーと各公民館で閲覧できるほか、市ホームページでも公開しています。詳しくは経営改革課☎(740)1120へ。なお、同市議会では「平成27年度川西市一般会計予算案」、「特別会計予算案」、「公営企業会計予算案」などが審議されます(4・5ページに27年度予算案、6～8ページに主要事業、9ページに行財政改革への取り組みを掲載)。

という、国の行く末を案じたものです。

この問題については、持続的な国力、あるいは、構成する地方力の維持という観点から、非常に由々しき問題として、国と地方が総力を挙げて取り組んでいく必要があると考えています。

国は、地方創生に向けた長期ビジョンを示し、今後5年間の総合戦略を決定しました。長期ビジョンでは、人口減少と少子・高齢化に対し、国として世界・アジアを見据えた日本全体のグランドデザインを描き、総合戦略でその実現に向けた政策目標が定められています。

今後、地方も国に呼応して、自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視の政策5原則を念頭に、地方固有の地域資源の活用や人口の自然増減・社会増減の現況を踏まえ、特定の分野や施策を重点的に推進するなど、知恵と工夫を凝らした対応が求められます。25年度からの第5次総合計画では、人口減少を前提に、

都市政策として「拡大成長化」をめざすよりも、「重点戦略

化」を図る施策を展開する中で、市民一人ひとりが幸せを感じるまちづくりを目標としています。

その実現方策として、住民の意思と責任に基づき地域課題を解決する地域分権制度を制定し、地域づくり一括交付金の仕組みを構築するとともに、定住促進などに向けた魅力発信プロジェクト、ふるさと団地の再生、健幸（健康）長寿社会をめざす取り組みの展開など、国の地方創生の理念に先んじた施策を推進してきました。

今後とも、経済成長期とは異なる変化の激しい社会の中ですが、行財政運営と有効な政策の選択について、時流を見定めながらスピード感をもって、まちづくりをけん引する責務があります。

市民が求める幸福のかたちを追求し、それを実現することが、私に課せられたまちづくりの命題です。今後とも粉砕身取り組んでいきます。

日本の創生は地方の創生から

前期重点プロジェクト

新年度では次の5点に重点を置き、積極的な施策展開を図ります。重点施策に係る主要事業は次の通りです。

1. 元気な都市再生プロジェクト
 - ・キセラ川西（中央北地区）の都市基盤整備や「低炭素まちづくり計画」などに基づく官民連携によるまちづくりを推進
 - ・キセラ川西内で、文化ホール、公民館、福祉施設などを包含した複合施設の整備を推進
 - ・長期的視点で公共施設の最適管理をめざす「(仮称)公共施設等総合管理計画」を策定
 - ・PFI手法を用いて市民体育館の建て替えと市民運動場のリニューアルの設計・工事を実施
 - ・旧北部処理センターに清掃事務所・清掃車両庫を整備するための基本設計を実施
 - ・旧松山浄水場跡地に消防本部と防災複合施設を整備するための基本設計を実施
 - ・花屋敷団地A・B・C棟の建て替えに向けた基本設計・実施設計を実施
 - ・「中心市街地活性化基本計画」に基づき各種事業を展開し、計画の進捗状況を測定するため「まちなか滞留・実感調査」を実施
 - ・若年世帯の流入や定住を促進するため「親元近居助成制度」を充実
2. 豊かな水と緑共生プロジェクト
 - ・黒川地区の観光資源の有機的連携を図り、一体的に管理・運営する仕組みやPR方策などを検討

- ・「黒川ダリヤ園」の今後のあり方を総合的に検討するため、施設整備や運営に関する基本計画を策定
 - ・「環境基本計画」の改定に向け、基礎調査を実施
3. こころ豊かな子ども育成プロジェクト
 - ・妊婦健診助成の限度額を7万円から8万円に増額
 - ・通院医療費無料化の助成対象を小学3年生まで拡充
 - ・小規模保育など地域型保育事業施設の整備を支援
 - ・川西北・小戸・川西中央の3保育所で産休明け保育を小戸保育所で乳児保育受け入れ枠を拡大
 - ・放課後留守家庭児童育成クラブの対象を小学4年生まで拡大し、開所時間を延長
 4. いきいき健康・長寿プロジェクト
 - ・「健幸マイレージ」ポイント地域還元制度を創設
 - ・「きんたくん健幸体操」推進員を育成
 - ・市立川西病院で、整形外科医の増員など医療体制を充実
 5. 川西の魅力発見・発信プロジェクト
 - ・まちの魅力を市内外にPRする「あんばい ええましかわにしプロジェクト」を展開
 - ・「のせでんアトライン妙見の森」の開催を支援
 - ・一定の要件を満たしたコミュニティ組織に「地域づくり一括交付金」を交付
 - ・地域担当職員や新たに配置する地域づくりアドバイザーを中心にコミュニティ組織の活動を支援
 - ・「市民憲章」を「(仮称)市民の幸せ憲章」として内容を見直し

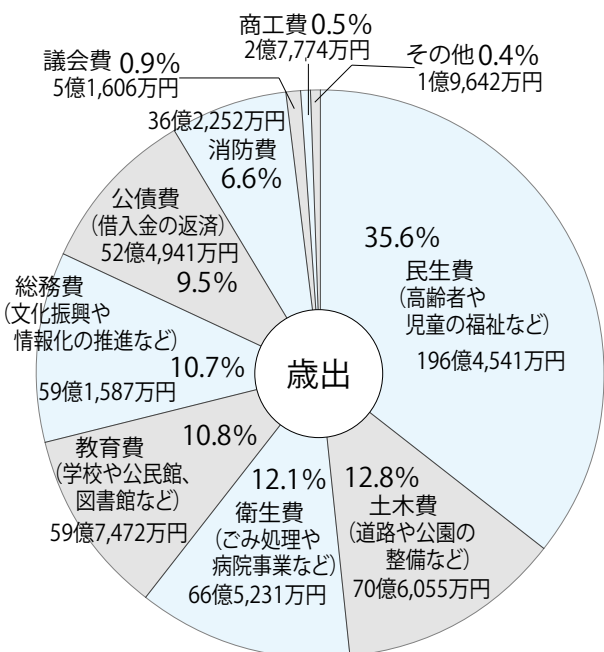
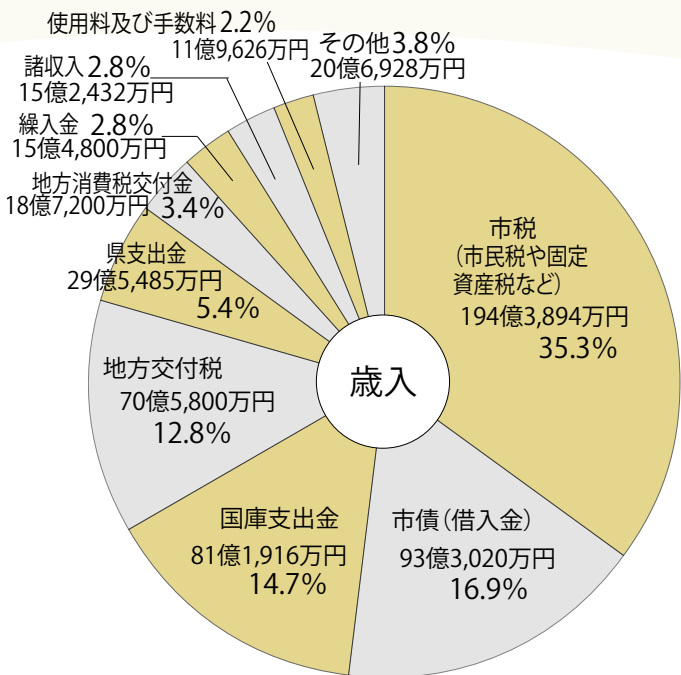


市税収入を前年度と比較

年度	27年度	26年度	
税 目	当初予算 (A)	当初予算 (B)	増減額 (A－B)
市民税	97億4,786万円	99億1,248万円	△1億6,462万円
個人市民税	89億5,594万円	90億6,876万円	△1億1,282万円
法人市民税	7億9,191万円	8億4,371万円	△5,180万円
固定資産税	72億3,578万円	72億7,174万円	△3,597万円
軽自動車税	1億4,285万円	1億3,752万円	533万円
市たばこ税	6億7,072万円	7億1,736万円	△4,664万円
入湯税	79万円	68万円	11万円
都市計画税	16億4,094万円	16億6,049万円	△1,955万円
合 計	194億3,894万円	197億 28万円	△2億6,134万円

※表中、端数の関係で合計が一致しない場合があります

一般会計の歳入・歳出



会計別予算額

一般会計
551 億 1,100 万円
特別会計
424 億 7,355 万円
企業会計
176 億 5,330 万円

市税収入は
2 億 6 1 3 4 万円の減
歳入では、個人市民税が、働く世代の人口減少などにより、前年度に比べて1億1282万円の減となることなどから、歳入の根幹となる市税収入は2億6134万円減の194億3894万円と見込んでいます。
す(26年度補正予算と27年度予算の主な事業は6ページに掲載)。

公共施設の整備など
投資的経費が増加
歳出では、民生費で、保育施設の整備・運営費用や後期高齢者の医療費負担が増額となる一方、臨時福祉給付金や生活保護費の減少などにより、1億7366万円減の196億4541万円となっています。
す。その減収分を補てんするため、地方交付税と臨時財政対策債で財源を確保しています。

196億4541万円となっています。
土木費では、新名神高速道路やキセラ川周辺などの道路整備のほか、市全域の道路安全灯のLED化などにより、21億4369万円増の70億6055万円になっており、衛生費は、健康診査費用などの増加により、8409万円の増額、教育費は、教育施設の耐震化などの増加により、12億5508万円の増額となっています。

平成 27 年度
予算案

27 年度予算案がまとまり、市議会（定例会）で審議されています。ここではその概要を紹介します。また、内容をまとめた「27 年度当初予算の概要」は、市役所 2 階の市政情報コーナーのほか、市ホームページで公開しています。詳しくは財政室 ☎ (740) 1130 へ。

26 年度予算と
一体的に編成

地方創生にかかる国の補正予算を活用

27 年度一般会計の予算規模は、過去最大の551億1100万円となっています。前年度より31億1300万円の増で、経常的な事業に加えて、子どもの通院医療費無料化の拡充など、子育て世帯への支援の拡充や道路などの都市基盤整備、公共施設の老朽化・耐震対策の費用などを計上しています。また、地方創生にかかる国の補正予算を活用するために、26年度補正予算と一体的に編成しています。「地域づくり一括交付金」や「健康マイレージ制度」など、本市独自の課題を解決する取り組みや、「プレミアム付商品券」の費用は、26年度の補正予算に計上しています。が、27年度に実施していきます。
特別会計では、キセラ川西で、せせらぎ遊歩道や中央公園の整備に着手するなど、引き続き整備を進めます。

会計別予算案

会 計 名		27年度当初予算(A)	26年度当初予算(B)	増減額(A－B)
一 般 会 計		551億1,100万円	519億9,800万円	31億1,300万円
※借換債を除く場合		540億 270万円	501億 500万円	38億9,770万円
特別会計	国民健康保険事業	198億6,377万円	174億3,079万円	24億3,298万円
	後期高齢者医療事業	25億3,774万円	23億9,510万円	1億4,264万円
	農 業 共 済 事 業	1,179万円	1,399万円	△220万円
	介 護 保 険 事 業	116億9,219万円	112億8,282万円	4億 937万円
	用地先行取得事業	43億8,503万円	34億 311万円	9億8,192万円
	中央北地区土地区画整理事業	39億8,303万円	37億4,512万円	2億3,791万円
	小 計	424億7,355万円	382億7,092万円	42億 263万円
一 般・特 別 会 計 の 合 計		975億8,455万円	902億6,892万円	73億1,563万円
※一般会計の借換債を除く場合		964億7,625万円	883億7,592万円	81億 33万円
企業会計	水 道 事 業	46億3,152万円	48億4,287万円	△2億1,135万円
	下 水 道 事 業	61億8,059万円	61億7,630万円	428万円
	病 院 事 業	68億4,120万円	63億1,239万円	5億2,881万円
	小 計	176億5,330万円	173億3,156万円	3億2,174万円
合 計		1,152億3,785万円	1,076億 48万円	76億3,737万円
※一般会計の借換債を除く場合		1,141億2,955万円	1,057億 748万円	84億2,207万円

※表中、端数の関係で合計が一致しない場合があります

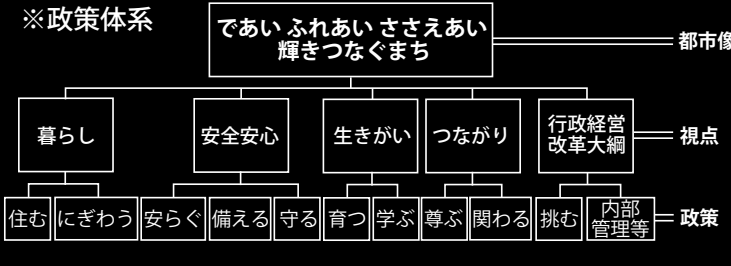


平成 27 年度施政方針と予算案



政策別主要事業

6～8 ページでは、第 5 次総合計画前期基本計画の政策体系（※）に沿って、27 年度の主要事業を紹介します。なお、★は、26 年度補正予算に計上し、27 年度に実施する事業です。詳しくは財政室 ☎（740）1130 へ。



安全安心

■安らぐ

新規★ 「健幸マイレージ制度」のポイントを地域に還元する制度を創設するとともに、「きんたくん健幸体操」推進員を育成し、さらなる普及啓発を実施 **384 万円**

新規 肝炎ウイルス検診未受診者を対象とした個別勧奨事業を実施 **626 万円**

新規 生活保護受給者を対象とした職場適応訓練などを支援 **360 万円**

新規 生活保護受給者以外の生活困窮者を対象とした相談窓口の設置や就労準備支援などを実施 **3,329 万円**

新規 保健センターで実施する人間ドックに胃がんリスク検診を導入するとともに、ヘリカル CT などの医療機器を更新 **3,895 万円**

生きがい

■育つ

継続 妊婦健康診査助成額を増額 **1,042 万円**

新規 小規模保育や家庭的保育などを行う地域型保育事業施設の整備に対し補助を実施 **5,400 万円**

新規 川西北・小戸・川西中央の 3 保育所で産休明け保育を実施するとともに、小戸保育所で乳児保育の受け入れ枠を拡大 **716 万円**

新規 市立幼稚園と保育所の耐震・老朽化などの課題解決を図るため、加茂幼稚園・加茂保育所と牧の台幼稚園・緑保育所が一体化した施設の整備に向けた設計を実施 **7,100 万円**

継続 未就学児まで実施している通院医療費無料化の助成対象を小学 3 年生まで拡充 **2,347 万円**

継続 留守家庭児童育成クラブの受け入れを小学 4 年

継続 26 年 4 月からの消費税率引き上げによる低所得者の生活への影響を緩和するため、臨時福祉給付金を継続して支給 **2 億 203 万円**

■備える

継続 購入から一定年数が経過した高規格救急車を更新 **3,288 万円**

継続 火災などの災害に備え、キセラ川西内の中央公園予定地に 2 基の耐震性防火水槽を設置 **2,237 万円**

継続 防災行政無線を継続して整備し、運用を開始 **2,420 万円**

■守る

継続 老朽化した火葬炉の更新を継続して実施（27 年度で完了） **7,604 万円**

継続 環境基本計画の改定に向け、基礎調査などを実施 **344 万円**

生まで拡大し、開所時間の延長を実施 **3,515 万円**

継続★ 社会生活を円滑に営む上で困難を抱える子ども、若者とその家族を対象とした総合相談窓口の回数を増やし、「居場所」づくりを推進 **164 万円**

継続 26 年 4 月からの消費税率引き上げによる子育て世帯への影響を緩和するため、子育て世帯臨時特例給付金を継続して支給 **7,569 万円**

■学ぶ

継続 「きんたくん学びの道場」を全小学校で実施 **223 万円**

継続 屋内運動場などの天井落下防止対策に向けた調査・設計と久代幼稚園の耐震補強工事を実施 **9,283 万円**

継続 川西北小学校、清和台小学校、東谷小学校の耐震化・大規模改造工事を PFI 手法を用いて実施 **17 億 4,198 万円**

継続 東谷公民館の耐震（大規模）改修工事と黒川公民館に講堂を新設するための設計を実施 **1 億 8,525 万円**

暮らし

■住む

継続事業（以下「継続」）★ 若年世帯流入を促進するため、親元近居助成制度を拡充し、団地再生モデル地区の取り組みを支援 **2,700 万円**

継続 キセラ川西内で、整地工事と「せせらぎ遊歩道」や道路などの都市基盤整備を引き続き実施 **26 億 5,303 万円**

継続 キセラ川西内で、市民ワークショップなどを通じて策定した整備構想に基づき、中央公園を整備 **2 億 200 万円**

新規事業（以下「新規」） 石道地内の新名神高速道路の工食用道路を市道化するために用地を取得 **1 億 6,005 万円**

新規 （市道 22 号外）南部地域整備実施計画に基づき、東久代地内の道路改良に向けた測量・設計を実施 **1,100 万円**

継続 （都市計画道路豊川橋山手線）美園町と絹延町地内の道路拡幅のため、道路南側の物件調査と用地取得に加え、北側交差点の改良工事を実施 **8,398 万円**

継続 （都市計画道路矢問畦野線）整備工事を実施 **4 億 4,548 万円**

新規 市内全域の安全灯の LED 化を実施 **4 億 6,500 万円**

新規★ 地域別の公共交通実施計画を策定するため、コミュニティ組織などに専門家を派遣するなどの支援を実施 **200 万円**

継続 （市道 49 号）鼓が滝地内の道路拡幅のため、改良工事を実施 **1,824 万円**

継続 （市道 12 号）見野地内の道路拡幅のため、物件調査と測量を実施 **482 万円**

継続 （市道 44 号）火打地内の道路拡幅のため、改良工事を実施 **1 億 9,490 万円**

継続 （市道 328 号）黒川地内の道路拡幅のため、改良工事を実施 **4,600 万円**

継続 （市道 3 号）中央町地内の道路拡幅のため、用地取得と詳細設計を実施 **4,206 万円**

新規 （市道 233 号）矢問地内の道路拡幅のため、測量と設計を実施 **200 万円**

継続 道路橋長寿命化修繕計画に基づき、市内橋りょうの改修工事を推進 **3,860 万円**

継続 （市道 284 号外）石道地内の道路拡幅のため、用地測量と改良工事を実施 **4,193 万円**

継続 （市道 52 号）西畦野地内の歩道拡幅のため、用地測量と詳細設計、工事などを実施 **1,215 万円**

継続 公園施設長寿命化計画に基づき、危険遊具の撤去と遊具の更新を進めるとともに、キセラ川西内の中央公園の整備の負担 **5 億 3,951 万円**

新規 花屋敷団地 A・B・C 棟の建て替えに向け、基本・実施設計を実施し、用地取得と造成を実施 **7 億 7,192 万円**

■にぎわう

新規★ 市内の消費喚起に向け、プレミアム付商品券を発行（子育て世帯は優遇措置あり） **7 億 5,200 万円**

新規★ 黒川ダリヤ園の整備や運営に関する基本計画を策定 **200 万円**

新規★ 黒川地区内の観光資源の連携を図り、付加価値を高めるための方策を検討 **300 万円**

新規★ 新商品開発事業者補助制度を創設 **200 万円**

継続★ 提案公募型地域経済活性化事業補助制度の補助対象を拡充し、制度の活用を促進 **500 万円**

継続★ 第 3 回アーティストオーディションを開催 **600 万円**

継続 青少年を対象としていたスポーツ全国大会等出場激励金の年齢制限を撤廃 **65 万円**

継続 石道地内などの農業用施設の改修工事に対して補助を実施 **531 万円**



黒川ダリヤ園



行財政改革の取り組み項目と効果見込額		(万円)
取り組み項目・内容	効果見込額	
■革新し続ける行政経営の推進	3,720	
民間の活用	35	
事業者と協働した「市民べんり帳」の作成	35	
ICT技術の活用	7,774	
25年度からの取り組み分(ICT技術の活用による機器の集約化)	7,774	
環境への配慮	△4,089	
安全灯のLED化	△4,046	
25年度からの取り組み分(エコアクション21など認証・登録支援の実施)	△43	
■持続可能な財政基盤の確立	1億3,673	
効率的で効果的な行政サービスの提供	758	
コミュニティセンター指定管理料の人件費適正化	15	
保健センターにおける各種検診受付業務のOAシステム導入による効率化	△95	
25年度からの取り組み分(給与体系の段階的な整理など)	839	
歳入の確保	140	
税の納付方法の検討	△296	
生涯学習短期大学受講料の確保	84	
雑誌スポンサー制度の導入	10	
25年度からの取り組み分(自動証明写真機の設置など)	342	
外郭団体などの適正化	520	
外郭団体への派遣職員の見直し	520	
公有財産などの長寿化と有効活用	1億2,255	
市有地の売却	1億1,800	
25年度からの取り組み分(市有地の貸付)	455	
■機動的な組織体制の構築と人材育成	887	
定員管理などの適正化と機動的な組織編成	887	
25年度からの取り組み分(直営地域包括支援センターのあり方の検討)	887	
合 計	1億8,280	
27年度新規取り組み分の合計	8,027	

※表中、端数の関係で合計が一致しない場合があります

かわにし事業ディスカッション 2014

26 年 8 月から 12 月まで、学識経験者がコーディネーターとなり、市民と市職員が協働して、効率的かつ効果的な事業展開をめざす事業ディスカッションを実施しました。各事業の改善に向けた主な今後の取り組みは、次の通りです。詳しくは市ホームページが経営改革課☎(740) 1120 へ。

交通安全啓発事業

【事業における課題】 中学生・高校生や成人、事故件数が増加している高齢者への啓発を充実させる必要がある。

【主な今後の取り組み】 交通安全啓発の人員体制を強化し、児童・生徒への指導を充実。中学生・高校生には、年代に応じたチラシなどの配付や掲示。高齢者には、受講団体の充実や啓発チラシを配布。

市民公益活動団体支援事業

【事業における課題】 高齢化の進展や価値観の多様化などを背景に自治会への加入率が低下し、担い手も不足しているため、活動基盤が弱くなっている。

【主な今後の取り組み】 自治会長会議を自治会間の意見交換・情報交流の場とし、また、同会議で課題解決に向けた講演などの企画を検討。

小学校運営事業

【事業における課題】 小学校から排出されるごみは、ほとんどが産業廃棄物として扱われるため、処分費用がより多く掛かる。

【主な今後の取り組み】 美化推進課発行のリサイクル情報誌「り・ぼ・ん」へ情報提供。広報誌「川西きょういく」への掲載や保護者に向けた啓発チラシの配布など、市民への情報提供方策を検討。

行財政改革の取り組み

行財政改革前期実行計画（計画期間は 25 ～ 29 年度）の状況を 27 年度当初予算の段階で取りまとめました。詳しくは経営改革課☎(740) 1120 へ。

計画の期間中に取り組む予定の項目のうち、27 年度に新たに着手する項目と効果見込額を計上するとともに、25 年度から取り組んだ項目について、継続して効果が発生する見込額を計上しています。

原則として、歳入については、前年度当初予算の増額分を、歳出については減額分を計上しています。行財政改革の実行に伴う必要経費については、その経費を調整した上で、計上しています。

持続可能な財政基盤の確立を



©久保田弘成



©水垣尚・岡本和喜
のせでんアートライン妙見の森 2013



©友井隆之



旧北部処理センター

つながり

■尊ぶ

新規★ (仮称) 女性カレッジの開講に向け検討 40 万円

継続 男女共同参画社会の実現に向け、基本理念など定めた「(仮称) 男女共同参画条例」を制定 12 万円

行政経営改革大綱

■挑む

新規★ 一定の要件を満たしたコミュニティ組織に対し、「地域づくり一括交付金」を交付 3,350 万円

継続 地域担当職員や新たに配置する地域づくりアドバイザーを中心にコミュニティ組織の活動を支援 704 万円

新規 市民憲章を市民の幸せに焦点をあてた「(仮称) 市民の幸せ憲章」として内容を見直す 33 万円

新規★ 都市のイメージアップと定住地としてのまちの魅力を市内外に PR するため、「あんばい ええましかわにしプロジェクト」を展開 1,060 万円

新規★ 本市が有する課題解決に向けて、川西版地方創生総合戦略「(仮称) あんばい ええましかわにし創生総合戦略」を策定 500 万円

継続 キセラ川西に文化会館、公民館、福祉施設などを包含した複合施設の建設を PFI 手法を用いて推進 702 万円

継続 マイナンバー制度開始に伴い、システムを構築し、28 年 1 月から個人番号カードを交付 2 億 3,533 万円

新規 長期的な視点で公共施設などの最適管理を行うため、公共施設等総合管理計画を策定 575 万円



松山浄水場跡地

継続 子どもの権利条約に基づく「子どもの実感調査」を実施 27 万円

■関わる

継続 自治会活動研修や自治会間の情報交換・交流の場となるよう自治会長会議を見直す 3 万円

新規 分庁舎の老朽化対応のため、旧北部処理センターを改修し、清掃事務所・清掃車両車庫を整備するための基本設計を実施 500 万円

新規 松山浄水場跡地を活用して、消防本部・防災施設の複合施設を整備するための用地取得と基本設計を実施 20 億 2,754 万円

新規 教育施策などについて教育委員会と協議する場として、「(仮称) 川西総合教育会議」を設置 4 万円

新規 「のせでんアートライン妙見の森」の開催を支援 100 万円

継続 放置自転車保管センターを中国自動車道高架下へ移転 5,444 万円

継続 PFI 手法を用いて市民体育館の建て替えと市民運動場のリニューアルの設計・工事を実施 1 億 175 万円

